

新たな思い出となった 同級会

通安市 岡村博己（大町一丁目出身）

私が小学校に入学したのは終戦の翌年で、食料事情の非常に悪い時代でした。時々進駐軍の鮭缶などの供給があり舌づつみをしたのを覚えていますが。こんな共通の思い出を持った南本町小学校昭和二十七年卒業六年一組の二十三人が十月二十二日赤倉温泉に集まりました。五年ぶりのことです。遠く香川、奈良、愛知、石川県からも来てくれました。

宴会、カラオケも終わり再会を十分に堪能した頃、先生はやおら「五十年後に返還する」と約束された私達が描いた先生の肖像画の返還式となりました。五十年後のタイムカプセルを開く時が来たのです。かすかな思い出をたよりに当時を偲んだひと時でした。こんな配慮をされた先生に感謝しております。

ちょうど担任の三浦稔先生が八十才を迎えられたお祝いをかねての集まりにな



りました。ケーキを用意し、お祝いにデジタルと最新の多機能つきプリンターをお贈りしました。この分野での進歩が著しく、ありがたいことに普通の印刷、古い写真などからの焼き増し、ネガフィルムからの焼き増し、デジタルからの直接プリントなどの機能が備わっています。諦めていたデジタルの世界に挑戦できると大変喜ばれました。近隣の教え子が時々教えに行くことになっています。

翌日はゴンドラで秋のスキー場を高く

登り、紅葉を楽しもうとの計画でしたが残念ながら雨降りのため中止、解散です。五年前に一緒に楽しんだ二人を亡くしてしまいました。何時、誰もが後を追ってもおかしくない年となったことを皆で自覚して、次回は二年後の開催を決めての東の間の楽しい再会の終了です。他のクラスも同級会しているのだろうか。人しながら気になります。

この十月二十三日は忘れることのない日となりました。

遠方より来た数人ともう一泊を計画し、高田のホテル六階で夕食に出かける時間待ちをしていた五時五十六分、あの大地震を肌で感じました。

